

志教育の視点	☑かかわる ・ ☑もとめる ・ ☑はたす
--------	----------------------

活動名	実践的な体験活動
教科・領域等	工業科・課題研究
活動学年等	1～3学年
ねらい	<p>全体計画及び年間指導計画に基づき、集団の中での役割と果たすべき責任の自覚を育み、地域から必要とされ、将来地域社会の担い手となるリーダー的な人材を育成する。</p> <p>また、実践的な体験学習を通して、自己理解の深化、望ましい職業観・勤労観の育成を図りながら、将来設計の立案と社会的移行の準備を行い、進路希望100%達成を継続していく。</p>

【実践内容】

[志教育の視点]

地域社会に貢献できる人材の育成に向けて、現場見学やインターンシップ、などの実践的な体験活動を通して、安全意識の高揚とともに、望ましい職業観・勤労観の育成を図る。

[活動内容（工業科）]

1 土木情報科の取組について

企業や官公庁の協力のもと、建設現場での職業体験を行いました。学校生活では体験することのできない、現場の雰囲気や最新技術の一端に触れ、専門教育をより深めることができた。さらに、建設産業を担う人材に必要な知識・技能を向上させることができた。



2 建築科の取組について

建築科では建築科の同窓組織である建友会の協力の下、2年生で3日間程度の産業現場実習を行った。現場実習を通して学校での学びが建設業の現場でどのように活用されているか体験することができ、将来の進路選択にむけて学習内容の進化と職業観の育成を図ることができた。



3 電気電子科の取組について

地域の電気工事組合と連携し、実際の現場でプロの職人による実技体験を実施。生徒たちは職人の技術や熱意に触れ、電気工事の重要性や魅力を理解しました。また、職人との交流を通じて働く意義や社会貢献の喜びを学び、将来の進路に対する意識が高まりました。



4 機械科の取組について

企業の技能五輪チームに来校いただき、旋盤及びCADの技能指導を行っていただきました。参加した生徒は、デモンストレーションを見学し、無駄のない動きと、素早い手さばきに見入っていました。実践的なスキルを身に付け、キャリア意識を高める良い機会となりました。



5 化学技術科の取組について

出前授業を通して、小学生とかかわりをもつ中で、教えることの難しさを知り、反省と実践を繰り返しながら自己理解を図った。また、授業を重ねるごとに言葉の選び方やお手本の示し方などを改善するとともに、集団の中で果たすべき自己の役割を考えられるようになった。

